

GMO ペイメントゲートウェイ株式会社に対する 「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（代表取締役社長：相浦 一成、以下「GMO ペイメントゲートウェイ」）に対し、「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」（※1）を実行しました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ方針・戦略と連携したサステナビリティ目標を設定し、金利等の借入条件をサステナビリティ目標達成に連動させることで、借り手に目標達成に向けたインセンティブを与え、環境・社会面において持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することをめざすものです。

「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」は、国際的な原則である「サステナビリティ・リンク・ローン原則（SLLP）」に基づき、みずほ銀行が独自に開発したフレームワークにより組成する「サステナビリティ・リンク・ローン」です。みずほ銀行が開発し、内製化したフレームワークは、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（JCR）から「サステナビリティ・リンク・ローン原則」等への適合性についての第三者意見（※2）を取得しています。

GMO ペイメントゲートウェイは、現金を不要とするキャッシュレス化や振込用紙をペーパーレス化する請求のデジタル化等の決済サービスを推進しています。本件では、GMO ペイメントゲートウェイに関するサステナビリティ目標として、CDP（※3）気候変動スコアで「A-」以上を取得することをSPT（※4）として設定しています。本融資期間中におけるSPT達成状況に応じて金利条件が変動するインセンティブを付与しています。

GMO ペイメントゲートウェイは、決済業界のリーディングカンパニーとして事業活動を通じた社会課題の解決によって、持続可能な社会発展への貢献と持続的な企業価値向上を実現するため、2023年9月期にマテリアリティを特定しました。サステナビリティ経営の重点テーマの一つに「キャッシュレスを通じた地球環境への貢献」を掲げるとともに、「2050年9月期までにGHG排出量ネットゼロ」の達成に向け、継続的に環境保全に取り組んでおります。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）

を強化しています。総合金融グループとして知見を活かし、社会・環境変化を踏まえた多様なソリューションの開発・提供を行うことで、お客さまの持続的成長を積極的に支援していきます。

<案件の概要>

融 資 先 : GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

金 額 : 50 億円

実 行 日 : 2026 年 3 月 31 日

契約期間 : 5 年

みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO 評価書

(https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/finance/growing_field/sll_pro/pdf/2025_06.pdf)

※1 : 「みずほサステナビリティ・リンク・ローン PRO」

(https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/sustainability/sll_pro/index.html)

※2 : 株式会社日本格付研究所 (JCR) による第三者意見書

(https://www.jcr.co.jp/download/eadaabe82ee29a25dd3ead0db3dd1d4e22b212aa6ec27e2a5b/25d1126_02.pdf)

※3 : 「CDP」

英国の慈善団体が管理する非政府組織 (NGO)。脱炭素社会の実現に向け、企業や自治体等の気候変動対応や GHG 排出量削減等の取り組みに関する情報を収集し、取組状況に応じたスコアリングを世界に公表することにより、各企業等の環境影響を認識させ、さらなる取り組みを促進させることを目的としています。(<https://cdp.net/ja>)

※4 : 「SPT」

サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット。借り手の ESG 戦略と連携したサステナビリティに関する目標。